

桜舞い散る中、あでやかな神事

～上荒尾熊野座神社神楽 奉納～

4月14日(木)、15日(金)の2日間、上小路熊野座神社で荒尾市指定重要無形文化財の上荒尾熊野座神社神楽が奉納されました。この神楽は約160年の歴史があると伝えられています。

今年小学生から中学生までの子ども16人が、男子は狩衣、女子は舞衣装で、御幣・弓・剣・鈴などを持ち、笛・太鼓に合わせて優雅に舞い、「五穀豊穣」「家内安全」を祈願しました。

神社周辺は行燈や提灯の明かりで、幻想的な雰囲気につつまれていました。



▲通称「上小路子ども神楽」と知られています。長い歴史と伝統を守るため、練習を重ね、優雅な舞を奉納しました。

休耕地を活用し、オリーブ園に

～樺・海行原オリーブモデル園に関する協定書締結～

4月15日(金)、樺・海行原地域と建設業協会オリーブ推進委員会が、オリーブモデル園に関する協定書に調印しました。この協定は、海行原地域で高齢化によって増え続ける耕作放棄地とイノシシ被害の対策として、荒地地と変える取り組みです。

樺・海行原地域の代表の荒木さんは「荒尾梨と同様に荒尾オリーブと言われるようになりたい」と決意表明をしました。第1段階として40畝にイタリア産オリーブ約200本が植栽されます。



▲樺・海行原地域代表の荒木俱則さん(左)、建設業協会オリーブ推進委員会代表の外屋敷豊さん(中)、緒方智明農林水産課長(右)

日本代表として素晴らしいプレーを!

～スペシャルオリンピックス世界大会へ出場～

6月25日～7月4日にギリシャのアテネで開催されるスペシャルオリンピックス(SO)夏季世界大会に、荒尾市で活動している5人の選手が日本代表として出場します。5人は昨年11月の第5回SO日本夏季大会でバレーボールと水泳の各種目で1位になり、代表に選ばれました。

4月19日(火)に4人の選手が市長を表敬訪問しました。

代表で村上直子さんが「荒尾養護学校で練習しています。バレーボールをがんばりたいです」と力強く抱負を述べました。



▲左からバレーボールの荒木成也さん、引率の田島光枝さん、バレーボールの村上直子さん、前畑市長、水泳の宮由紀さん、バレーボールの東洋子さん。この日欠席した津上さやかさんがバレーボールに出場します。

荒尾の宝・万田坑を楽しくスケッチ

～万田坑スケッチ大会～

4月23日(土)、29日(金・祝)の2日間、万田坑でスケッチ大会が行われました。同大会は毎年開かれてきた万田坑市民まつりの一環行事でしたが、今年も東日本大震災の影響を考慮してスケッチ大会のみの開催となりました。当日は晴天に恵まれ、2日間で約40人の参加がありました。親子連れの参加もあり、大人と子どもの違った目線で万田坑をスケッチしていました。

2日目には表彰式が行われ、大賞に大牟田市白光中3年の北原智子さんが選ばれました。



▲世界遺産候補の万田坑を前に、真剣にスケッチ。思い思いの万田坑が画用紙いっぱい広がりました。

100種 1,900株のバラが咲き乱れる

～ばらまつり開催～

5月5日(木)から、浄水場横のおもやい市民花壇で、ばらまつりが開催されました。5日には開会のセレモニーとフリーマーケットなどが行われました。

当日は、それまでの低温が影響し、バラは2分咲き程度でしたが、大型連休後は順調に気温が上がり、およそ1千900株のバラは12日頃には見頃となりました。

まつりの後も、おもやい市民花壇には多くの人が訪れ、大きな色とりどりの花を咲かせたバラを鑑賞していました。



▲5月16日(月)に訪れたところ、花壇にはいい香りが漂っていました。訪れた人は花壇をゆっくり巡りながら、笑顔でバラの花を楽しんでいました。

子どもたちの登校を見守る旗を寄贈

～登校旗が荒尾第一小学校へ 登校旗授与式～

5月9日(月)、荒尾第一小学校で、一小校区元気づくり委員会(福田和寛委員長)から荒尾第一小学校の児童たちに、新しい登校旗70本が手渡されました。

登校旗とは、児童が登下校の際に使用する黄色い旗です。以前使用していたものが古くなったため、同委員会の安心・安全部会が、今回新たに寄贈しました。

同部会は、日頃から児童の安心安全を確保するため、下校時のパトロールを行うなど、活発な活動を行っています。



▲福田委員長(右)に児童代表でお礼を述べる6年生の弥山葵さん(左)。新しい色鮮やかな登校旗で、より安全な登下校ができるようになります。